

国土交通省中部地方整備局長 優良業務表彰  
平成23年度木曾三川下流部  
魚介類生息環境調査業務

社会基盤システム開発センター 塚本 吉雄  
中部コンサルタント部 恩藤 真・森 啓彰・鳥居 千春  
環境部 壺岐 信二・市橋 理

局長表彰 優良業務(成績優秀)

- ・業務名 平成23年度 木曾三川下流部魚介類生息環境調査業務
- ・受注者 アジア航測(株)
- ・履行期間 平成23年4月27日～平成24年3月26日
- ・業務内容 本業務は、木曾三川下流部の特徴である汽水域における魚介類等の生息生育環境を把握することにより、木曾三川下流部の河川特性を踏まえた、河川環境の適切な管理に資することを目的として実施したものである。
- ・表彰理由 この業務を進めるに当たり、過年度の多様な調査結果を踏まえ、河川環境の要因の変化と生物の応答について、流量・水質の連続観測や生物生育環境調査を十二分に活用しつつ、当汽水域での環境調査をとりまとめ、客観性を持った的確で有用な成果をあげた。

(平成24年度優良工事等表彰について～平成24年7月24日木曾川下流河川事務所資料より)

## はじめに

この度、国土交通省中部地方整備局優良業務局長表彰をいただきました。ご指導いただいた木曾川下流河川事務所の関係各位、調査にご協力いただいた赤須賀漁業協同組合をはじめ漁業関係者各位に厚くお礼申し上げます。

河川汽水域は海域と河川域の接点にあたる複雑な環境系であり、豊かな自然環境、水産資源やこれを支える河川管理が輻輳する場です。本業務の特徴および遂行にあたっての留意点は次のとおりです。

## 業務の特徴と留意点

この業務は、環境変動の大きい場での調査であること、多くの利害関係者をもつこと、徳山ダムや長良川河口堰などの施設運用(弾力的運用)に社会的注目が集まることなど調査の課題を多くもっていました。調査、検討の内容は、人工干潟の底質、生物などのモニタリング、重要資源であるヤマトシジミの生息状況やアンケートによる漁業実態調査、海苔漁業のアンケート調査などをもとに汽水域の生物

の生息環境を整理するものです。生物、水質、底質などの環境データを河川管理上の重要指標である流量との関係で解析することが重要と考え、過年度のデータと照合の上、人工干潟における出水とアサリ、ハマグリが生息状況の変化などを客観的なデータとして提出しました。また、業務成果は漁業者への情報提供や勉強会などに活用し、成果の一部は土木学会河川シンポジウム(東京)で発表しました。

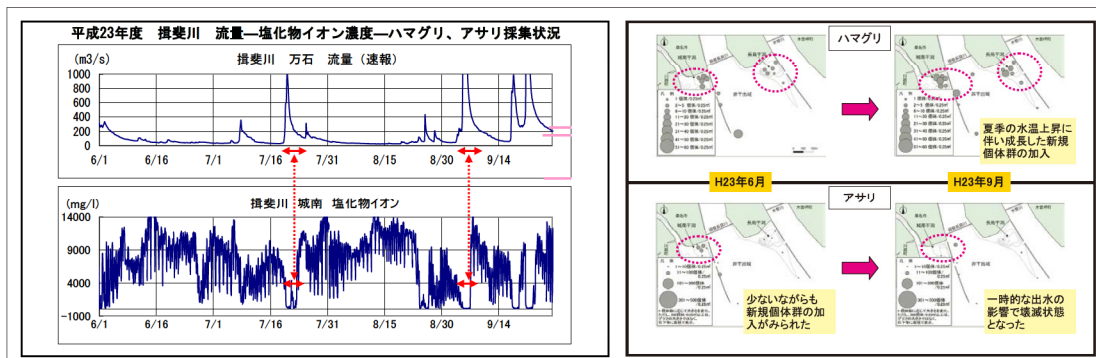


図1 平成23年度 揖斐川 流量—塩化物イオン濃度—ハマグリ、アサリ採集状況

## おわりに

いただいた表彰を糧に、今後とも科学的知見に基づいた良い成果の提供に努めたいと思います。